

■ モモエの小さな幸せ

～ 推し活ならぬ紙活してきました ～

心地よい春は一瞬で、すぐ30℃超えて体がついていきません。会社だけでなく、日常生活でも気を付けなければなりません。

さて、6月は面白いワークショップに行ってみました。

その名も「紙活」。株式会社 川島印刷さんのイベントで、紙のことをよく知ろうというものでした。

パルプの見本があり、実際に触ってみました。再生パルプの手触りがちょっと違っていてこんなに違うんだねと話しながら見ていました。私はROKEN新人研修卒業生のOさんが一生懸命働く姿をチラチラ見ながら・・・子供たちは、奥で他の子達が一生懸命やっているワークショップが気になって仕方ありません。「ももえちゃん、あのなんか作るやつやってきていい？」と代わる代わる言いに来るので、展示を見て早々にワークショップに参加しました。



好きな紙を重ねて、自分だけのオリジナルメモ帳作りです。子供6人いましたが、性格が出て面白かったです。うちの娘は、私に似てガサツなので、好きな色の紙をまとめてどんどん重ねて「ハイ、OK」とさっさと出来上がりました。1人は、並んでる紙を順番に重ねるを何回も繰り返していました。ママに「1枚ずつでなく枚数あった方が断面きれいいじゃない？」と言われても聞かずに1枚ずつ重ねてました。1人は好きな色をある程度まとめましたが、断面が気に入らず、並べ替えを始めました。それぞれの「断面萌え」を目指して、真剣に紙活していました。

私の紙活は、習っても一向に上達しないお習字。NHK大河ドラマ「光る君へ」を見て、仮名文字チャレンジ中ですが、センスがない。

春先は仕事やPTAなどで、お習字どころでなくお稽古サボってしまいました。

先生に「いつ仕事落ち着きそう？」と聞かれたりして…いつだろう…いつだろう…

センスはないけれど、墨を摺ってまっさらな紙に字を書くのは、わずかな時間でも幸せです。

■ ROKEN ミニ情報

— 熱中症対策が義務化されました —

毎日、暑い日が続きます。労働安全衛生規則が改正され、

6月1日より熱中症対策が義務化されました。

熱中症対策は会社ごとに違います。業種、職場環境が違えばリスクと対応策が違うからです。

例えば、建設業など外の作業がある場合は高温と体を動かす作業がリスクとなります。食品製造業や厨房などは、高温多湿やエプロン等で二重の衣類を着用することになり体温が逃げにくいリスクがあります。同じ会社でも職種により違います。

ポイントは「見つける」「判断する」「対処する」です。マニュアルを作るのはいいことですが、突然の出来事にマニュアルが頭に入っている人なんていません。

右の図は、厚生労働省の通達の対応計画の例です。

連絡先、声掛けや健康確認、対処方法は職種によっても違います。

身体冷却の方法などを1枚のフローにまとめて、各所に貼り出すことをお勧めします。できれば、身体冷却など対処方法もイラストなど視覚で判断できる方がいいと思います。

